

【令和七年度 久留米工業大学 一般選抜入学試験 個別学力試験 出題意図】

【前期一般選抜(2月4日実施)】

大問	教科・科目名	出題意図
第1問	国語	<p>松村真宏氏による評論文「「仕掛学」は感染拡大を止める切り札になるか 身近な問題から社会問題まで解決する可能性」から出題しました。この文章は、人々の行動を間接的に変容させる「仕掛け」の概念と、その具体的な事例(トイレの的、エスカレーターの足跡など)を紹介し、装置中心アプローチとの対比を論じたものです。出題を通じて、論理的な文章の論旨や構成を正確に把握する力、主要概念の定義や対比構造の理解、および基礎的な漢字・語彙の知識があることを測る目的で設定しています。</p>
第2問		<p>佐藤泰裕氏による評論文「【痛みを伴う街のコンパクト化】居住を制限する「逆線引き」の功罪に私たちはどう向き合うべきか」より主題しました。出人口減少社会における都市計画の新たな手法である「逆線引き」と、それに伴う経済的・社会的な影響について論じた文章を題材としました。出題を通じて、「集積の経済」や「混雑の不経済」といった専門的な概念を用いながら、都市のコンパクト化が住民の生活の質に与えるプラス・マイナス両面の効果を論理的に把握する力を問います。各問は、制度の仕組みの理解、用語を用いた的確な要約力、および基礎的な漢字・語彙の知識を測る目的で設定しています。</p>